

注目集めるリン脂質結合型オメガ3脂肪酸(クリルオイル)

～超臨界抽出技術を駆使して高い品質を実現～

Food Style21 1月号「研究最前線」より

オリンピック シーフード社(ノルウェー)

Research Director Dr.Inge Bruhelm氏

オリンピック バイオテック社(グループ企業・ニュージーランド)

CEO John Cameron氏

機能性食品素材「リン脂質結合型オメガ3脂肪酸“クリルオイル”」(南極オキアミオイル)はこの数年、上市が相次ぎ、様々な機能性を期待され、大きな注目を集めている。ノルウェーのオリンピックシーフード社(以下、オリンピック社)はアジア市場において、甲陽ケミカル(東京都千代田区)と提携し、クリルオイル原料のバルクの供給を2012年春から開始している。オリンピック社は自社所有専用船を南極海で操業し、南極オキアミを捕獲。水揚げ後、船上の食品加工工場でオイルの原料中間体まで一貫製造し、さらに超臨界抽出技術を駆使することで、天然物の品質の安定化を実現した、高い品質が大きな特徴である。クリルオイルの米国市場は安定成長を続けるオメガ3素材の次世代・差別化型市場として近年年率 40%と大幅に売り上げ規模を拡大しており、豪州・欧州でも着実に市場の広がりを見せ、世界中でヒットしている。提携する甲陽ケミカルはオリンピック社のアジアの販売窓口として台湾・韓国からアジア市場への新規参入にも積極的に取り組んでいる。国内原料販売について甲陽ケミカルは、アルファリンク(東京都台東区)と商品名「コーヨークリルEx」の販売で提携、並行して販売を展開している。

オリンピック社は、南極オキアミを専門に扱うノルウェーの水産企業で、最新鋭のオキアミ専用船“JUVEL”を保有している。今シーズンのクリルオイルの製造計画量は年間200t、南極オキアミ資源からクリルオイル製造までの一貫した安定供給体制を整えている。今回はオリンピック バイオテック社 CEOであるジョン・キャメロン氏と、研究担当の取締役であるインゲ・ブルハイム氏に、自社のクリルオイル素材「RIMFROST Sublime Krill Oil」(日本でのブランド名:コーヨークリル EX)の概要と最新研究動向を伺った。

オリンピック社の成り立ち

オリンピックグループは、年間売上高約400億円、従業員約800人で22隻のハイテクな船舶を保有(近々23隻になる予定)し、運輸受託業

務および漁業を行っています。グループのオーナーであるスティング・レモイ氏は21歳の若さで船舶を購入し、若い船長として北極海でエビの漁業を行い、海が彼に非常に厳しい教訓として成功の秘密は能力のあるチームと先端技術にあることを教えています。この経験と企業家精神から、オリンピック社のビジネスを成功に導きビジネスを大きくしてきました。そして今、スティング・レモイ氏はハイテク機器と有能なチームで南極オキアミという南極海で注目の水産資源の水揚げを開始し、事業化に成功しました。

大きな特徴は超臨界抽出技術で高い品質を安定供給

当社のクリルオイル素材商品「RIMFROST Sublime Krill Oil」（日本国内でのブランド名:コーヨークリル EX）は、HACCP で衛生管理された水揚げからの迅速な船上工程と GMP で工程管理された超臨界流体抽出法による優れた抽出工程による2段階製法で、機能性食品素材として高品質なクリルオイルの製造を実現しました。私たちのクリルオイルは、リン脂質結合型オメガ3脂肪酸を豊富に含み、抗酸化効果があるフォスファチジルコリンとアスタキサンチンも高含有となっています。「RIMFROST Sublime」は人体へ吸収されやすく、高い生物学効率と生物学的効能が期待できます。独自の2段階製法による高品質の証は透明かつ美しい赤色のクリルオイルであることであり、脂質の加水分解をストップすることで、気になる後味の問題もなく、また臭いも少ないのです。

私たちはこの超臨界抽出技術により天然に近い複合油でも安定した高い品質を保証できます。

デンマーク工科大学、Nofima AS と共同研究プロジェクト開始

オリンピック社はデンマーク工科大学、Nofima AS（食品・水産関連の欧州大手研究機関）と共同研究中で、品質の差別化につながる特許も準備中です。政府機関などからの研究資金も潤沢。クリルオイルに特徴的なリン脂質の評価方法の標準化など後発メーカーならではの差別化を図っていく方針。

アジア市場への展開

最高品質のクリルオイルは品質へのこだわりの強い日本市場にマッチし、次世代型オメガ3<リン脂質結合型オメガ3脂肪酸>の価値についても十分に理解を得られるものと考えている。甲陽ケミカルと共同で日本国内でのクリルオイル市場を開拓し、日本以外のアジア地域（韓国、台湾）へも拡大していく。